奥州市議会新奥会 会報

しんおう

Vol.3
令和3年3月
発行

2018年に誕生した、奥州市議会会派「新奥会」も、満３年が経過いたしました。新人だからこそ市民目線・市民感覚で、奥州市の市政を質してまいりました。また、この間奥州市議会は早稲田大学マニュフェスト研究所主催の「議会改革度調査 2019」（2020年６月発表）の総合ランキングで全国９位、「第15回マニフェスト大賞」（2020年11月決定）マニフェスト推進賞の議会部門で、最優秀賞を受賞しました。我々「新奥会」はこれらの結果に寄与できたことを自負しながら、奥州市民のためのあらゆる改革や、奥州市の財政再建を実現するべく頑張ってまいります。

本来であれば直接皆様に我々の活動をご報告すべきでありますが、コロナ禍、この会報をもって１年間の報告とさせていただきます。

新奥会行政視察報告　新奥会雪害被害調査

昨年12月14日から20日頃にかけて、記録的な降雪に見舞われ、農業関連施設及び公共施設、民間住宅等に甚大な被害が発生しました。

特にも農業関連施設に於いては、ビニールハウス1700棟、格納庫110棟、農業機械等に被害が多く、被害額は13億５千万円（令和３年２月18日現在）となっています。

新奥会では、１日も早い農家の再建を願い、被害の実態調査を行うとともに、藤原崇衆議院議員、岩手県議会議員に早期の支援を働きかけ、奥州市、両ＪＡと協議を重ね、早急な具体的支援を実施されるよう要請を行いました。

支援内容は以下の通りです。

衣川地域の水稲育苗認定農家にて

事業費見込額

（単位：千円）

事業区分		事業費	予算額	特定財源	一般財源
(1)【国庫】経営体育成支援事業補助金（大雪対策）	R2	—	—	—	—
	R3	335,820	257,459	179,102	78,357
(1)・(2)【県単】被災農業者緊急支援事業補助金	R2	560	372	186	186
	R3	1,120,155	527,402	263,701	263,701
(3)【市】農業用廃プラスチック適正処理推進補助金	R2	—	—	—	—
	R3	7,246	3,624	—	3,624
令和２年度（２月追加補正）		560	372	186	186
令和３年度（当初追加補正）		1,473,221	788,485	442,803	345,682
合　　計		1,473,781	788,857	442,989	345,868

国、県、奥州市、両ＪＡが支援に取組む方針が示されました。

若柳地区畜産農家（堆肥処理施設）にて

若柳地区ピーマン農家にて

新奥会議員活動報告

①干支　②血液型　③好きな映画　④好きな色

会長
小野　優（43歳）
水沢秋葉町76番地
TEL 090-9674-5613

教育厚生常任委員
議会運営委員
市政調査会監事
議会広報委員
新市立病院建設調査特別委員会幹事

コロナ禍において活動を制限された部活動への提言や、LGBTQ＋への支援について、昨年度に引き続き取り組みました。

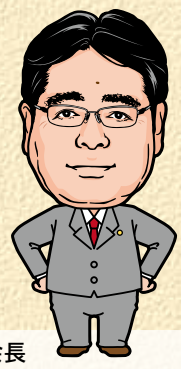
部活動は正しい知識を得た指導者の下、適切な時間管理によって行われるべきです。過去の経験論やダラダラとした練習は、子どもたちのためにならないどころか、怪我の発生すら招きかねません。またスポーツ少年団活動と父母会練習との区別をはっきりさせ、一定の方向性をしめすことができたと考えております。

LGBTQ＋への支援は、正直皆さんの間でも判断が分かれることは承知しております。私自身が正しい知識の普及啓発に努めるとともに、令和３年度に実施される男女共同参画計画の見直しおいて反映されるように訴えていきます。

コロナの影響によって各種イベントの中止、特にも厄年連・年祝連が活躍する場が大きく奪われたわけですが、彼らに対して今後どうサポートしていくのか、ということも取り上げてきました。42歳を終えた先輩の一人として今後もしっかりと支えていきます。

コロナや大雪による被害と、地域経済の疲弊度は想像以上であり、なかなか明るい見通しが見えてこないところではありますが、今後はその再生を最重要課題として取り組んで参ります。

①巳年　②A型　③スターウォーズ　④青



副会長
高橋　晋（58歳）
江刺豊田町二丁目2番6号
TEL 0197-35-8430

総務常任委員
議会運営委員
議会広報 副委員長
国際リニアコライダー誘致推進議員連盟監事
奥州金ケ崎行政事務組合議会議員

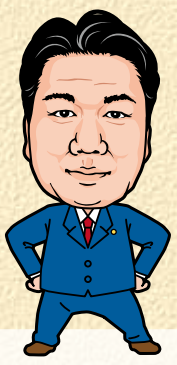
６月議会一般質問では、**「情報通信技術（ＩＣＴ）を活用した行政経営及び学校経営」**を市長、教育長に質問。来年度から小・中学生に対して支給されるタブレットの運用を促進させ、災害時等も遠隔で教育を受けられるようにします。今後新型コロナウイルスと共存するため、モバイルやネット環境をどう活かすかでは、市民に情報を伝えるために広報、ホームページを補完する手段は考えられないかを質問。市民に様々な情報を伝える手段として、**スマートフォンの「アプリ」の導入**が決定しました。

９月議会一般質問では、奥州市を売り込むよう**シティプロモーションの大切さを提言。**アフターコロナの産業振興として、廃校等に通信環境等を整えた事務スペースの貸し出しなど、小規模事業者や起業を目指す個人、ユー・アイターン者の受け皿として、**移住定住促進を提言。**

個人的には、晴れて**防災士**になり、防災士会「きずな」の会員になりました。

また、昨年10月１日から**ＪＲ東日本東北新幹線水沢江刺駅の発車メロディーが、奥州市出身・大瀧詠一さんの「君は天然色」**になりました。署名活動や関連イベントなどの市民運動と、奥州市との協働が評価され、コロナ禍の明るい話題となりました。

①寅年　②O型　③黒沢明『生きる』　④黄



幹事
及川　春樹（51歳）
水沢羽田町字明正114番地1
TEL 0197-25-2657

産業経済常任委員
議会改革検討委員
議会広報委員
国際リニアコライダー誘致推進議員連盟監事
新市立病院建設調査特別委員会幹事

令和２年度は以下の点で一般質問をさせていただきました。

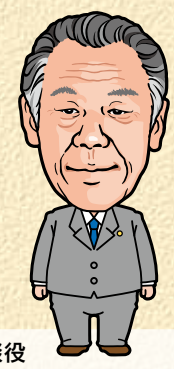
- 定住自立圏第２期共生ビジョンについて
- 効率的な組織づくりについて
- 国際リニアコライダー（ILC）誘致について
- 地方創生について
- 疾病としてのゲーム障害について
- （仮称）新小谷木橋完成後の通学路について

2020年、私達の住む社会は「新型コロナウイルス」の存在により、大きな変化を余儀なくされました。生活も働き方も変わる大変難しい１年でした。まだまだ終わりの見えない新型コロナ問題ですが、「2025年問題」も懸念されています。奥州市が、急激な人口減少を克服し、この「2025年問題」にも対応できるように、これからも賑わいのあるまちであり続けるためには、次代を担う**若者に選ばれる地域づくり**が不可欠です。また、人口減少が進む中でも、未来に向けて、奥州市が多様で活力ある地域社会を維持し、魅力あふれる市として発展するためには、**誰もが活躍するまちづくり**に取り組まなければなりません。奥州市は、若者が集まり、交わり、彼ら・彼女らの夢が実現できるための様々な取組みによって、地域のまちを活性化し、全ての市民に施策の効果が波及していくことが必要です。

超高齢社会が現実のものとなる中、高齢者が健康に暮らせるとともに、奥州市に住み始める時点で若者だった世代が、歳を重ねても住み続けられるようなまちを皆様の協働の下、実現しましょう。

①酉年　②O型　③近未来的な映画　④青

2025年問題：第一次ベビーブームの1947～1949年に生まれた団塊の世代は、2025年になると75歳以上の後期高齢者になります。人口の３人に１人が高齢者、５人に１人は75歳以上という、世界でも類をみない超高齢化社会になります。



相談役
加藤　清（73歳）
胆沢若柳字清水川393番地
TEL 0197-46-2858

建設環境 副委員長
議会改革検討委員
市政調査会幹事
監査委員

奥州市が発足してから早や15年が経過した。今日、本来であれば市民の期待に叶う自治体になっていなければならない。しかし少子高齢化、人口減少、地域経済の低迷等により市政は疲弊の方向にあると感じられる。活力あるまちづくりに向けての行政課題は、多岐に渡り山積していると思われる。市民の負託に応えるため、執行機関、議会が互いに連携し、政策の更なる具体化を推し進めることが肝要である。政策の具体化を行うためには、歳入、歳出のバランスを維持しつつ、健全な財政基盤構築は不要不可欠と考える。

今に生きる市民のため、次世代に開かれた魅力あるまちづくりを進めるためにも、行財政改革は喫緊の課題である。残された任期は僅かとなりましたが、これらの考えを基に市政課題改善に向け努力して参ります。皆様のご指導を賜りますようお願い致します。

次に監査業務についてのあらましを報告致します。監査の着眼点については、市の財務に関する事務の執行、及び経営に係る事業の管理について、収入、支出、その他の財務に関する事務が、適正かつ効率的に処理されているかを主眼として監査を実施する。令和２年度監査実施内容、総務企画部を含め９部所、医療局を含め４部局、小中学校８校、財政支援団体等６施設、地区センター等の指定管理６施設にて監査を実施した。ほか毎月、例月現金出納検査、監査委員会を行っている。

①亥年　②A型　③石原裕次郎の映画　④ブルー

編集を終えて

第３号、最後までお読みいただきありがとうございました。過去２号では会派として提言をさせて頂きました。市民の皆様よりわかりやすい、保存版にしていますなどの声を頂いておりましたが、文字が小さく読みづらいとの声もありました。現在の奥州市の課題は過去２回の提言に集約されているとの見解から、今号では掲載しない事とし、残りの任期実現に向けて努力してまいります。

バックナンバーをホームページ上に掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

会報Vol. 1
「私たちの地域医療の今日と明日」

会報Vol. 2
「奥州市の財政の今後」